allcinema

浮草物語（1934）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 118分
初公開日 1934/11/23

【解説】
　小津安二郎が原作（ジェームス・槇のペンネーム）と監督を担当したサイレント作品。池田忠雄が脚本を執筆した。坂本武演じる喜八を主人公とした「喜八シリーズ」の第二弾で、1928年のアメリカ映画「煩悩」を下敷きにしている。1959年には「浮草」というタイトルで小津自らリメイクした。
　旅芸人の一座が小さな町を訪れた。町には座長の昔の女おつねと、その息子の信吉が住んでいた。一座の看板女優であるおたかは、座長の市川喜八の愛人でもあった。彼女は喜八がおつねと信吉に会うのが許せない。そこで彼女は一座の若手女優であるおときに、信吉を誘惑させることにした。ところがおときと信吉はそのまま恋に落ちてしまう。

【クレジット】

監督	小津安二郎	
原作	ジェームス・槇　James Maki	（小津安二郎）
脚本	池田忠雄	
撮影	茂原英朗	
美術監督	浜田辰雄	
衣裳	斎藤耐三	
編集	茂原英朗	
出演	坂本武	喜八
	飯田蝶子	かあやん（おつね）
	三井秀男	信吉
	八雲理恵子	おたか
	坪内美子	おとき
	突貫小僧	富坊
	谷麗光	とっつあん
	西村青児	吉ちゃん
	山田長正	マア公
	青野清	立師
	油井宗信	下廻り
	平陽光	小屋の男
	若宮満	駅員
	懸秀介	古道具屋
	青山万里子	床屋のかみさん
	池部光村	村の男
	笠智衆	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.